

むげんきょうそつ 夢現共創

発行責任者
椋津 博士
後援会 会長
鈴木 茂 郎

宮城県議会議員と懇談会

わたしたちの会派である県政・公明クラブの若手三名と、隣県である宮城県議会議員の若手議員三名の、計六名で懇談会を開催してまいりました。山形県と宮城県との産業連携のあり方や今後の取り組み、また、政務調査費の用途におけるお互いの諸課題についてなど、活発な意見が取り交わされ有意義な懇談会となりました。

夕方からは会食を共にし、同年代でもあることから話も弾み、楽しい一時を過ごさせていただきました。

また、次の日は宮城県議会を表彰訪問し、自民党の執務室におられた議員の方々や、議会事務局長とも談話をさせていただきました。最後に本会議場を案内していただくなどたいへんお世話になりました。

二〇一〇年に宮城県にセントラル自動車が生産工場を定めていることから、本県でも自動車関連産業誘致など進めて行かなくてはなりません。今後とも、密接な関係を保ち両県の発展に寄与できるよう努めてまいります。



(宮城県議会本会議場にて撮影
一番右が佐藤宮城県議会議員)



【左写真が事務所全景 事務所は二階】



(事務所内の様子)

所属する委員会が決定しました

☆常任委員会	厚生文化常任委員会 (副委員長)
☆特別委員会	行財政改革・危機管理対策特別委員会

県議会では、毎年所属委員会が変わります。2月定例会にて所属する常任委員会が厚生文化常任委員会に変わりました。これまでは、農林水産常任委員会に所属して、県の基幹産業である農業をはじめ、林業、水産業について勉強しながら皆さんの声を反映すべく積極的に発言して参りました。

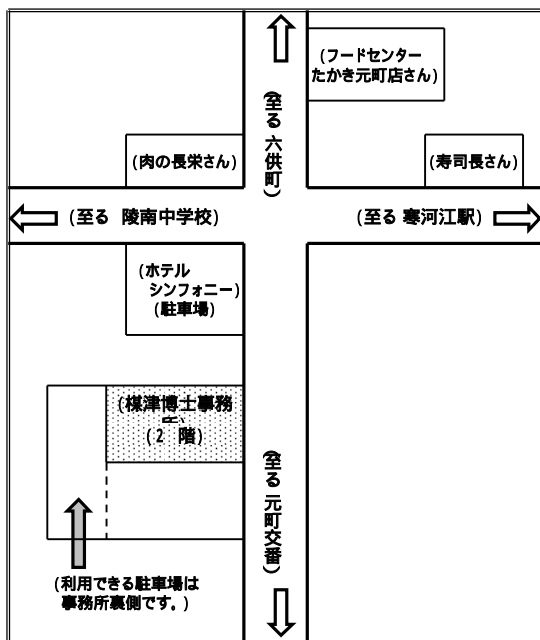
また、特別委員会については留任となり、引き続き県財政の有効活用などに向けた改革推進、そして、安全・安心に暮らせる県民生活の向上に関する施策の充実に努めて参ります。

厚生文化常任委員会の所管する案件は、病院や医療を取り巻く問題をはじめ、今年度から始まる後期高齢者医療制度など、福祉に関する案件が中心となります。

また、文化環境面では、県が「最上川」流域を中心とした世界遺産登録への取り組みなど。また、環境問題で急務である温室効果ガス排出量削減への取り組みなど。

県民の関心が高い重要事案が多い委員会ですので、皆様の意見を頂きながらよりよい故郷の構築に努めて参ります。

【椋津博士事務所案内図】



椋津博士事務所開設

事務所開設に関しては、後援会の皆様方から、気軽によれる事務所を設けた方がよいのでは、との要望があり、この要望にお応えすべく、事務所を構えることになりました。二十年度から政務調査費の使途のより明確化が図られ、後援会活動も厳しさを増しますが、意義のある事務所開設となるよう努めて参りたいと考えております。

今後はこの事務所を中心に、多くの皆様のご意見を聞き、県政に反映すべく政治活動をより一層充実して参ります。

どうぞ皆様、お気軽にお立ち寄りいただきたいと存じます。また、事務所は必ずしも常駐とは限りませんので、お電話などば承ります。

【椋津博士事務所 住所：寒河江市元町3丁目3番3号 大和ビル2階】
【事務所 電話番号：84-7117 / FAX：84-7118】



【安食 秀樹】

【椋津博士と共に頑張ります】

これから椋津県議の政治活動などのお手伝いをさせていただきます安食と申します。まだまだ、至らないところがございますが、皆様にご指導をいただきながら誠心誠意務めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。